

コンソーシアム活動への支援イメージ

スマート農業技術開発プラットフォーム

プラットフォームの会員

②調査票の提出

〈主な要件〉

- ・機械や器具、システムなどの開発や改良に関するもの
- ・県内の生産現場の課題に対応したもの
- ・令和7年度に対応が可能なもの

マッチングできた場合

⑥事業計画の作成・提出

マッチングできなかった場合

対応終了となります

コンソーシアム (企業やJ A、大学など)

⑩活動の実施 (機械・器具の開発や改良)

⑪実績報告



農林水産総合センター（事務局）

①マッチング調査の実施

③打合せ（ヒアリング）

④実現性や必要性、普及性、必要経費、投入時間などについて総合的に検討し、具体的な計画について関係者と協議

⑤結果通知 (マッチングできない場合もある)

⑦内容の審査・承認

⑧コンソーシアム構築 (共同研究の契約締結)

⑨コンソーシアムへの支援 (予算の範囲内)

- ・調査機械等の借上
- ・研究材料の購入
- ・専門家の派遣 など

⑫情報交換会などでの発表



留意事項

- ※1 この事業は、製品化の可能性や実現可能性を調査する「フィジビリティ・スタディ」です。
- ※2 調査票の提出は、事業の実施を約束するものではありません。